

式 辞

宇治田原の里の桜も先週に満開を迎え、春爛漫の今日のよき日に、宇治田原町長 勝谷 聡一様をはじめ、多くのご来賓の皆さまの臨席の下、令和八年度 第八十回宇治田原町立維孝館中学校入学式を挙行できますことに、高段からではございますが、厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

七十二名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの入学をみんなでも楽しみにしていました。今の気持ちはどうですか、今日から始まる中学校生活にワクワクしていますか。

皆さん、今の気持ちを大切にし、小学校で身につけた力を土台に、中学校では、授業や行事、部活動等、様々な体験を積み重ね、本校が目指す「夢に向かつて自ら学ぶ人」、「人とつながり（絆）を大切にする人」、「誇りを持ってふるさとを語れる人」へと成長してくれることを願っています。

さて、今日から3年間の中学校生活がスタートします。そこで、皆さんに心がけてほし

いことを、3つ伝えます。

一つ目は、「自分の思いや考えをもつ」ということです。

皆さん一人一人が、「中学校で何を頑張りたいのか。どんな人になりたいのか」と考え、その思いを実現させるために、努力し続けてほしいと思います。

授業や行事、取組をしている時に人任せにしないで、自分で考え、思いを伝えたり、一緒に考えたりできれば、学習面では、学びがより深まり、行事や取組でも、みんなの絆がより強まり、よりよいものが生み出されると思います。

二つ目は、「認め合う」ということです。ここにいる一人一人がかけがえのない命を持ち、得意なことや苦手なこととも一人一人違います。ものの見方や考え方もそれぞれ違います。優しい気持ちや思いやりの心で人と関わり、意見や考えの違いを認めながら、お互いの得意なことを生かし合えるよう、協力してほしいと思います。学校生活の中でお互いを認め合い、高め合えるような関係づくりを期待しています。

三つ目は、「挑戦する」ということです。今

から一五〇年前に電話や電球を発明したエジソンのこのした言葉に「私たちの最大の弱点は諦めることにある。成功するのに最も確実な方法は、常にもう一回だけ試してみる事です」という言葉があります。

また、日本の発明家であり電機メーカーのパナソニックを創業した松下幸之助さんも、「失敗したところでやめてしまうから失敗になる。成功するところまで挑戦し続ければそれは成功になる」という言葉を残されました。

このお二人の言葉に共通しているのは、「挑戦すれば、様々な困難に出会い、諦めそうになる。しかし、そこで諦めずに挑戦し続けなければ新たな道を切り拓くことはできない」ということだと思います。

皆さん、中学校生活で失敗を恐れずに多くのことに挑戦し、最善を尽くしてください。成功しても、たとえ失敗しても、人は必ずそこから学び、成長していくことができます。

大切なのは、失敗しないことではなく、挑戦することです。何事にも挑戦して、自分を高めていってください。

「自分の考えを持つ」「互いに認め合う」「失敗を恐れず挑戦する」「この三つのことを大切に」して、毎日、皆さんの笑顔・スマイルがあふ

れ、わくわくするような楽しく充実した学校生活と一緒につくりあげていきましょう。先生達は、みなさん一人一人の成長を願い、気持ちに寄り添いながら一緒に考え、支援していきま

す。保護者の皆様、お子さまのご入学、おめでとうございいます。心からお祝い申し上げます。制服に袖を通されたお子様のりりしい姿に、お喜びもひとしおのことと存じます。私たち教職員は、義務教育のまとめとなる中学校三年間で、お子様の更なる成長を実感していただけるよう毎日、努力してまいります。今後も、本校の教育活動に対しまして、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

結びにあたり、新入生の皆さんが、中学校での様々な活動に懸命に取り組み、実り多い3年間となること、そして、本日参加いただいた皆様のますますのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、式辞といたします。

令和八年四月九日

宇治田原町立維孝館中学校

校長 細矢 和彦